- 1 今年度の部活動の目標及び運営方針
 - ・部活動に積極的に取り組むことにより、健全な心身の成長を促すとともに、生きる力の育成や 豊かな学校生活の実現を図る。
 - ・健康及び安全に高い意識をもち、自身や集団でのけがや病気の予防、軽減に留意できる。
 - ・主体的な活動をとおして、目標達成に向けて自主的に工夫して取り組むことができる。
 - 集団での動のなかで、規範意識を高め、社会性を身につける。
 - ・部活動指導ガイドラインに準じて、本校にあった活動を検討し、確立する。
- 2 「再開に向けた準備を行う」期間における計画策定
 - (1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項
 - 低下した肺活量に見合った練習量。
 - ・コンクール中止によるモチベーションの低下。
 - (2) 部活動を再開する際の感染防止対策
 - ア 活動前の留意事項(部室・更衣室の対策を含む)
 - 多人数の手が触れる場所の消毒を行う。
 - ・流水と石鹸で丁寧に手を洗う。
 - 使用教室や楽器の準備の際に密を避ける。
 - イ 活動中の留意事項
 - ・平時よりも激しい呼吸となるため演奏の間隔を3mは開ける。
 - ・個人練習の際は向き合うことを避ける。
 - ・当面は合奏を実施しない。
 - 楽器やリード、マウスピース等、自分のもの以外を使用しない。
 - ・声によるコミュニケーションをとる際は対面を避ける。
 - ウ 活動後の留意事項(部室・更衣室の対策を含む)
 - ・楽器や使用教室を片付ける際に密を避ける。
 - ・流水と石鹸で丁寧に手を洗う。
 - ・多人数の手が触れる場所の消毒を行う。
 - エ 対外的な練習試合等の留意事項(6月15日以降)
 - ・当面は原則実施しない。
 - ・実施の際は管理職に相談の上、ガイドラインと参加団体の対策に留意する。